学校番号	３２６

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	帝国書院「高等学校新地理 A」						
副教材等	帝国書院「新地理 A ノート」 帝国書院「新詳高等地理図」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界の地理的考察を通じて現代世界の諸地域を学びます。これらの学びを通じて、国際社会で主体的に生きるとともに、平和で民主的な社会をつくっていくために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることを目指します。

2　学習の到達目標

①現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて考察し，現代世界の地理的認識を養います。
②地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 ○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。 ○現代的諸課題を，世界諸地域の特色を踏まえて，その背景・要因・解決策を多方面から追究し，より良い社会のあり方を持続可能性という観点から提言することができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。

評価方法	定期テスト（論述問題など） ノート	定期テスト（論述問題など） ノート	定期テスト（論述問題など） ノート	定期テスト（論述問題など） ノート
年５回の定期考査では，ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価します。 評定は，上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	1 章　地球儀や地図からとらえる現代世界 ・緯度と経度と時差 ・球面と平面の世界 ・国家の領域と国境 2 章　グローバル化が進む世界 ・国と国との結びつき ・拡大する貿易と交通、通信 ・観光と人の移動	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○	a.b 球体である地球を地図で表すときに生じる歪みを考え、正確な地図をどのように作っていったのかを理解する。 グローバル社会の中で人と物がどのように動き交流しているのかを理解する。 c 領域内外で国家の主権がどのように及ぶのかを国家の領域の図を読み取ることで知る。 統計地図や、貿易統計などを読み取り、地域間の結びつきを理解する。 d 国家の領域や日本の位置などを知り、国境がどのようにひかれるのかを知る。 活発になる国家間や地域間の結びつきと現代の技術がどのように生かされているのかを知り、基礎知識を学ぶ。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査

1学期期末		2章　人間生活を取り巻く環境 ・大地形と小地形 ・地形による生活の違い ・地形図の利用	 ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○	 ○ ○ ○	a. b 大地形と小地形がどのように形成され、どのように生活に結び付くのかを知る。 c 地形図を読み解き、どのような地形か、そして何に活用されているのかを読み解く。 d 小地形と大地形のそれぞれの用語を覚え、どのような形をしているのかを知る。 地形図の地図記号を学ぶ。	
2学期中間	第1部　世界の諸地域の姿と地球的課題	2章　人間生活を取り巻く環境 ・気候 ・気候による生活の違い ・産業と生活	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	a. b 地域によって世界の気候が違うことを知り、なぜそのような気候になるのかを意識して知識をつける。 気候がどのように生活に影響を与えるのかを知る。 c それぞれの気候の雨温図やハイサーグラフを読み取ってそれぞれの気候区を理解する。 d それぞれの気候区の特徴を知り、産業にどのように影響を与えているのかを理解する。 世界の農業や工業の地域性とそれらが地形、気候とどのような関係にあるのかを理解する。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査

２学期期末		４章　地球的課題と私たち ・環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題と食糧問題 ・都市問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a.b 現代の環境問題やエネルギー問題、人口問題などそれぞれについて列挙し、どのように問題を解決しようとしているのかに興味を持ち、調べるようにする。 c ＣＯ２の増加グラフなや資源の可採年数のグラフ、分布図などを読み取って世界規模でどのような問題が生じているのかを考える。 d 環境問題やエネルギー問題などの解決策を自ら考えための知識を身に着ける。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査
３学期	２部　身近な地域の課題	・身近にある地図 ・日本の自然環境と防災 ・身近な課題と地域調査	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	a.b 学習内容を意欲的に考察しようとしているかどうか。２学期までで身に着けた知識理解をもとにそれぞれ自ら考え、探求する c 防災意識を高めるために、自分の住んでいる地域のハザードマップをインターネットで調べる。また、災害の多い地域はどこなのか調べてまとめる。 d 災害の多い日本においてどのようにすれば防災・減災になるのか、役立てるような知識を身に着ける。	学習活動への参加・態度 ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。